

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和1年6月20日(2019.6.20)

【公表番号】特表2018-531977(P2018-531977A)

【公表日】平成30年11月1日(2018.11.1)

【年通号数】公開・登録公報2018-042

【出願番号】特願2018-522054(P2018-522054)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/716	(2006.01)
A 6 1 K	31/455	(2006.01)
A 6 1 K	31/366	(2006.01)
A 6 1 K	31/80	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/06	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 K	33/30	(2006.01)
A 6 1 K	33/26	(2006.01)
A 6 1 K	33/24	(2019.01)
A 6 1 K	33/06	(2006.01)
A 6 1 K	33/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/355	(2006.01)
A 6 1 K	31/375	(2006.01)
A 6 1 K	31/122	(2006.01)
A 6 1 K	31/015	(2006.01)
A 6 1 K	35/68	(2006.01)
C 1 2 P	19/04	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/716
A 6 1 K	31/455
A 6 1 K	31/366
A 6 1 K	31/80
A 6 1 K	45/00
A 6 1 P	3/06
A 6 1 P	1/04
A 6 1 P	35/00
A 6 1 K	33/30
A 6 1 K	33/26
A 6 1 K	33/24
A 6 1 K	33/06
A 6 1 K	33/00
A 6 1 K	31/355
A 6 1 K	31/375
A 6 1 K	31/122
A 6 1 K	31/015
A 6 1 K	35/68
C 1 2 P	19/04

【手続補正書】

【提出日】令和1年5月15日(2019.5.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

高脂血症、メタボリックシンドローム、炎症性腸疾患、大腸炎、クローン病、及び結腸がんからなる群より選択される疾患をもつヒトにおける前記疾患を治療するための組成物であって、発酵を利用して増殖させたユーグレナのベクター1，3-グルカンの有効量を含有する、組成物。

【請求項2】

前記疾患が高脂血症である、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記組成物の投与が前記ヒトのコレステロールのレベルを減少させる、請求項2に記載の組成物。

【請求項4】

前記有効量が、0.1mgのベクター1，3-グルカン/kg体重乃至100mgのベクター1，3-グルカン/kg体重である、請求項2または3に記載の組成物。

【請求項5】

前記有効量が、0.1mgのベクター1，3-グルカン/kg体重乃至50mgのベクター1，3-グルカン/kg体重である、請求項2または3に記載の組成物。

【請求項6】

スタチン、ニコチン酸、胆汁酸樹脂、フィブリン酸誘導体、又はコレステロール吸収阻害剤と併用して投与される、請求項2乃至5のいずれか一項に記載の方法。

【請求項7】

前記疾患が大腸炎である、請求項1に記載の組成物。

【請求項8】

前記疾患が炎症性腸疾患である、請求項1に記載の組成物。

【請求項9】

前記疾患がクローン病である、請求項1に記載の組成物。

【請求項10】

前記疾患が結腸がんである、請求項1に記載の組成物。

【請求項11】

前記組成物の前記有効量が、0.1mgのベクター1，3-グルカン/kg体重乃至100mgのベクター1，3-グルカン/kg体重である、請求項7乃至10のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項12】

前記組成物の投与が、抗炎症性サイトカイン産生を増加させる、請求項7乃至11のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項13】

抗炎症薬、免疫抑制薬、又は抗生物質と併用して投与される、請求項7乃至12のいずれか一項に記載の方法。

【請求項14】

前記ユーグレナがユーグレナ・グラシリスである、請求項1乃至13のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項15】

前記ユーグレナが従属栄養的に増殖する、請求項1乃至14のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 16】

前記ベーター 1, 3-グルカンがパラミロンの形態で存在する、請求項 1 乃至 15 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 17】

前記ベーター 1, 3-グルカンがベーター 1, 6-グリコシド結合を含まない、請求項 1 乃至 16 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 18】

前記ベーター 1, 3-グルカンがユーグレナから精製される、請求項 1 乃至 17 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 19】

前記組成物がユーグレナバイオマスを含み、前記ユーグレナバイオマスが前記ベーター 1, 3-グルカンを含む、請求項 1 乃至 18 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 20】

前記ユーグレナバイオマスが 40% 以下の含水率に乾燥されている、請求項 19 に記載の組成物。

【請求項 21】

前記ユーグレナバイオマスが 1000 ミクロン以下の平均粒径を有するように加工されている、請求項 20 に記載の組成物。

【請求項 22】

毎日、単回投与として投与される、請求項 1 乃至 21 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 23】

1 日に複数回に分かれた投与として投与される、請求項 1 乃至 21 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 24】

アルファトコフェロール、コレカルシフェロール、亜鉛、クロム、セレン、アルギニン、アスコルビン酸、アルキルグリセロール、カフェイン、カヴァカヴァ、ウコン、スピリリナ、クロレラ、ステビア、カルシウム D-グルカレート、コエンザイム Q10、ペプチド、ジメチルグリシン、ドコサヘキサエン酸、エイコサペンタエン酸、アルファ-リノレン酸、アスタキサンチン、ベータカロチン、ルテイン、乳酸菌プロバイオティクス、ビフィドバクテリウムプロバイオティクス、マンノオリゴ糖、フルクトオリゴ糖、アストラガラス、エキナセア、エスベリトックス、ニンニク、グルタチオン、ケルプ、L-アルギニン、L-オルニチン、レシチン顆粒、マイタケ、レイシ、又はシイタケの抽出物、マンガン、ケルセチン、プロメライン、オリーブ葉、ニワトコ、ウムカ、パントテン酸、ケルセチン、アルファリポ酸、精油、魚油、香辛料及びその誘導体、プテロスチルベン、並びにそれらの組み合わせからなる群より選択される追加成分をさらに含む、請求項 1 乃至 23 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 25】

前記追加成分が亜鉛である、請求項 24 に記載の組成物。

【請求項 26】

金属をさらに含む、請求項 1 乃至 24 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 27】

前記金属が、鉄、マグネシウム、リチウム、亜鉛、銅、クロム、ニッケル、コバルト、バナジウム、モリブデン、マンガン、セレン、及びそれらの組み合わせからなる群より選択される構成要素を含む、請求項 26 に記載の組成物。

【請求項 28】

前記ベーター (1, 3)-グルカンと前記金属が複合体を形成する、請求項 27 に記載の組成物。

【請求項 29】

前記複合体が亜鉛ベーター (1, 3)-グルカン複合体を含む、請求項 28 に記載の組成物。

【請求項 30】

ヘマトコッカス・プルビアリス、アスタキサンチン、及び初乳からなる群より選択される追加成分をさらに含む、請求項 1 乃至 23 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 31】

固体として投与される、請求項 1 乃至 30 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 32】

懸濁液として投与される、請求項 1 乃至 30 のいずれか一項に記載の方法。